



走れ！ ひまわり号！

ひまわり号を走らせる全国連絡会通信

2019年4月11日 発行

発行：ひまわり号を走らせる全国連絡会
〒300-0873 茨城県土浦市荒川沖 1-40
☎029-843-0270 📠029-843-1108
✉hashire.himawarigo@gmail.com
発行責任者：渡邊和博

各地で春の足音が聞こえ、桜も各地で見ごろを迎えておりますが、皆さんいかがお過ごしですか？花粉症に悩まされている方もいらっしゃると思いますが、お身体に気を付けて・・・。

さて、全国交流会 in 札幌、無事に閉幕しました。
今号はそのご報告からー。

ひまわり号全国交流会 2019in 札幌 無事閉幕！！



懇親会での集合写真 皆さんお疲れさまでした！

3月9日から10日にかけて、「札幌市北区民センター」をメイン会場に『全国交流会 2019in 札幌』を開催しました。

札幌も少雪のためか路面の雪もとけ、10℃ちかい気温の中で開始となりました。

冒険家である松浦武四郎氏がこの地を「北海道」と命名して昨年、150年目を迎えました。

命名されてから北海道は開拓の時代を迎え、全国各地から「フロンティアスピリッツ」を描きながら北海道の地を開墾していき、現在の北海道があります。

この地でぜひ交流会を開き、ひまわり号に新たなフロンティアスピリッツを抱いていこうと、札幌実行委員会をはじめ道内3実行委員会がタッグを組み、今回の交流会となりました。

今回の交流会は各地より11実行委員会45名の皆さんがこの地で、活動の報告や日頃の悩みをみんなで共有しあいました。

数年ぶりに関西圏から「城陽ひまわり号実行委員会」の米原さんも参加となり、久しぶりの会話も弾まれたのではないかと思います。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

そしてなにより、準備にご尽力いただいた札幌実行委員会の岩本実行委員長、山田事務局長をはじめ札幌実行委員会の皆さん、千歳ひまわり号、函館実行委員会の皆さんに感謝の思いでいっぱいです。

交流会を受け入れていただき、ありがとうございました。

★第39回 ひまわり号全国総会

開会セレモニーのあと、まずは全国総会からのスタートです。議長を宮城実行委員会の小澤華代さんと、相談役の金子錦也さんにお渡し、議事を運営していただきました。

(議事の内容は別添の議事録をご覧ください。)

2019年度の運動重点と課題に関しては、総会と交流会の開催方法の議論の際、打ち合わせの不十分さから提案がうまくできず、参加いただいた皆様に叱咤激励をいただいてしまう提案になってしまったことをお詫び申し上げます。

もともとは各実行委員会で議論いただいた開催方法を議論してから規約改正等の発議をするべきだったと運営委員会で振り返りを行っております。

このため、来年度2020年開催予定の全国総会と交流会は通常通りの開催とし、その中で改めて発議をさせていただきます。

運営委員会の資料として各実行委員会で議論していただいた内容はぜひメールか郵送にてお教えいただけたら幸いです。

第39回 ひまわり号を走らせる全国連絡会 総会

13:30 開会 15:30 閉会

◇加盟実行委員会数 : 21 実行委員会

◇参加実行委員会数 : 11 実行委員会

◇委任状提出実行委員会数 : 9 実行委員会

合 計 : 20 実行委員会

会則第5条—3項により成立しております。



2019年度の役員・及び担当実行委員会は下記の通りにて決定いたしました。

役職	氏名	実行委員会	担当すること
運営委員長	渡邊 和博	宮城	全体統括 担当：能代・宮城
副運営委員長	内田 慎吾	札幌	全体統括（サブ）・運行集約・通信担当 担当：札幌・千歳・函館
事務局長	岡田 和枝	長野	会計 担当：山梨・わいど沼津・長野・新潟・長岡
運営委員	藤井 慎也	enjoy いばらき	会計フォロー 担当：利根沼田・enjoy いばらき 東京みなみ・立川・伊豆するが
	岡田 翔揮	西条	運営委員 担当：城陽・大阪・神戸・姫路・西条・新居浜
会計監査	藤井 聡子	enjoy いばらき	
	☆志賀 高昭	enjoy いばらき	
相談役	大塚 一壽	全国連絡会	運営に関する相談
	眞鍋 敏朗	西条	//
	金子 錦也	東京みなみ	// ・HP 担当

※) 氏名の前の☆印は新任者

＜退任された委員＞清水英員 会計監査員(東京みなみ)

☆過去のひまわり号写真から考えよう！

～昔・今の実行委員会の写真を振り返る～

要項で各実行委員会へお願いした「昔の写真をお持ちください」の声掛けに、各実行委員会から素敵な懐かしい写真等をお持ちいただき、この時間を使って参加したみんなで鑑賞会を行いました。

なかには気合を入れて数十枚の PowerPoint にまとめていただいた実行委員会もあり、懐かしさを感じる反面、昔のひまわり号はこんなことをやっていたということを知ることが出来ました。

ひまわり号が走り始めた当初は、こんなにバリアフリーが整っていない中、みんなで力を合わせて一つの壁にチャレンジしていく・・・「これぞひまわり号だ！」と思える写真がたくさん見られました。みなさん、ご協力ありがとうございました。



北海道の地でカンパイ！！

～懇親会 presented by 札幌実行委員会～

いよいよお楽しみの懇親会。

会場を向かいにある「札幌サンプラザ」に会場を移して盛り上がりました。

一部に北海道の食材を使ったおいしい料理にビールは北海道限定の「サッポロクラシック」・・・とてもおいしかったですね。

会は受け入れていただいた「札幌実行委員会」が全面プロデュース！

いつも行うビンゴ大会を「クイズ SAPPORO DON!」と題してクイズ大会を行いました。

札幌実行委員会のことや、北海道に関する問題、そして北海道の難読地名もクイズとなり、大いに盛り上がりました。

最後は、札幌実行委員会の山田さんが作詞し、「線路は続くよどこまでも」のメロディーで歌う「列車は走るよいつまでも」を披露し、みんなで合唱しました。

札幌実行委員会のみなさん、企画ありがとうございました。そして函館実行委員会の佐田さんが、函館のひまわり号で披露した「どじょうすくい」を披露していただきました。

終了後のインタビューの中で、「みんなに見せたいからー」の言葉がずしっとつたわかりました。

佐田さん、ありがとうございました！！



「列車は走るよいつまでも」

作詞 山田敬展

列車は走るよ いつまでも
みどりの野原を駆け抜けて
遠くに見えるよ 山並みが
楽しい時間を過ごそうよ
走らせよう 走らせよう
私たちのひまわり号
走らせよう 走らせよう
みんなを乗せて

列車は走るよ いつまでも
主役はみんなさ 胸張って
生きてゆこうよ どんな日も
手と手合わせて笑ってる
走らせよう 走らせよう
私たちのひまわり号
走らせよう 走らせよう
みんなを乗せて

走らせよう 走らせよう
私たちのひまわり号
走らせよう 走らせよう
みんなを乗せて



こんな問題もありましたよ



☆これからのひまわり号はどう運営するか・・・？

～2日目・交流会 これからのひまわり号を考える～



2日目の交流会は35年走り続けた歴史を振り返りながらこれからのひまわり号をどう運営して行ったらいいか？をテーマにグループディスカッションを行いました。

北海道は150年前に命名されたのち、開拓使が設置され、寒さやヒグマの恐怖と闘いながら原野を切り開き今日の北海道が誕生しました。

そんなフロンティアスピリッツがあったこの地ともあり、今までのひまわり号の歩んだ道を振り返りながらこれからひまわり号をどのように運営していくといいかを話し合いました。



会の初めに札幌実行委員会に携わっている3名の方に講義をしていただきました。

まず、札幌実行委員会の実行委員長、岩本萬（よろず）さんより札幌実行委員会が立ち上がる話をしていただきました。

次に札幌ひまわり号で長年、高校生ボランティアでご協力いただいた北星学園女子高等学校の小島治子先生より高校生とのエピソードや、スタンスなどをお話いただきました。

最後に札幌実行委員会の副実行委員長の石川法男さんより災害派遣のボランティアとひまわり号との関わりについてお話をいただきました。

そのあとより講義の内容や各参加者の思いなどを基にディスカッションを繰り広げました。

限りある時間の中でしたが、それぞれの想いを膨らませて素敵なディスカッションになったと思います。

ぜひこのディスカッションを各実行委員会の運営につなげていただけたらと思います。

ディスカッション頂いた岩本さん、石川さん、そして小島先生、ありがとうございました。



☆次回の開催地発表！！

～来年はどこで開催かな？～

最後の閉会全体会では、先のディスカッションの報告を各グループで発表しあい、話し合った内容の共有をしました。

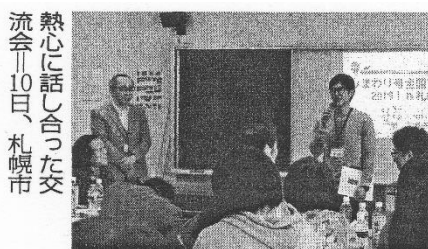
これからのひまわり号について4つの柱を作って発表していただいたグループでは①共生 ②人と人とのつながり（横やたての繋がり） ③欲求（人やモノ）→みんなの欲求を叶える ④ひまわり号を広める（認知度を上げる）があがり、これについて深掘りして話を膨らませたようです。

そのあと2日間の振り返りを内田副運営委員長よりいただいた後、次の全国総会＆交流会の開催地を発表し、次回は2020年3月頃に「愛媛県松山市」での開催が発表となりました。

札幌実行委員会の山田事務局長より駅等でお迎えに使ったボードを西条実行委員会の岡田さんへ引き継ぎ、無事に閉会となりました。

来年は、愛媛県松山市での開催となりました。

1年間、各実行委員会で奮闘していただき、来年の交流会で皆さんと楽しんでいきましょう！
ありがとうございました！！



熱心に話し合った交流会10日、札幌市

障害者と家族、ボランティアが列車やバスで旅を楽しむ「ひまわり号全国交流会2019」が9、10の両日、札幌市で開かれました。

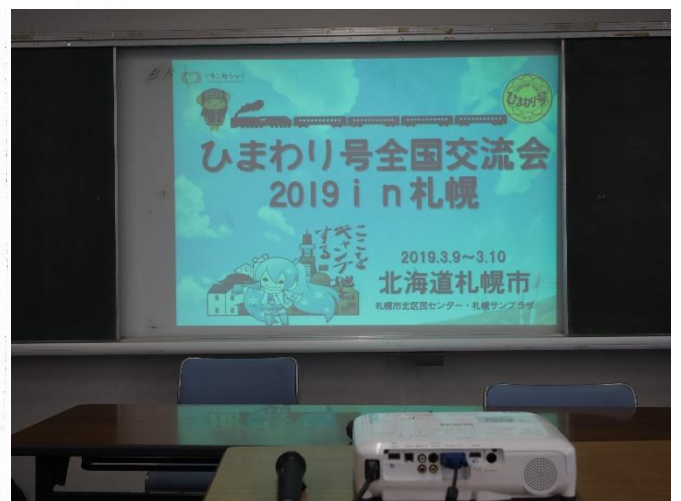
札幌ひまわり号交流会開く

障害者と心を通わせ、

1982年、東京実行委員会が上野駅から日光まで走ったのが全国で初めてのひまわり号でした。その3年後に札幌実行委員会が発足し、全国で21の実行委員会があります。札幌や長野、宮城、愛媛など11の実行委員会が参加。悩みや苦労、工夫していることを話し合い、

「全国を取り組みを聞いてこれからひまわり号を走らせていく」「ひまわり号を知らない人も多い。知らせることが必要」と活発に意見交換しました。

来年の交流会は四国松山市での開催で、再会を誓いました。



し合い、「障害者のため、ボランティアのためのひまわり号」を再確認しました。

「ボランティア部の高校生が毎回参加し、『障害者と一緒に楽しんでいきます』と話してくれそうです。若い人の参加はひまわり号にとって宝です」とうれしそうに話す75歳の女性。

←しんぶん赤旗 2019.3.11 より

「フロンティアスピリッツ」で困難を乗り越えよう！

～全国交流会2019in 札幌 2日間のまとめ

内田 慎吾

全国の皆さん、2日間、大変お疲れ様でした。
北海道での交流会、有意義なものになったでしょうか。

北海道の景色に似合う青空、そして太陽さんが私たちを後押ししてくれるような気持ちになれたような2日間になった気がします。

今から150年前、幕末から明治時代にかけて蝦夷地を冒険した「松浦武四郎」氏がこの地を「北海道」と命名し、全国各地から北海道への憧れを持って開墾し、寒さやエゾヒグマに怯えながらも「フロンティアスピリッツ」精神を大切にしながら開拓の手を進めました。

その地を拠点とする「札幌実行委員会」は、82年11月のひまわり号を札幌でもやりたいと1984年に準備委員会を設立し北海道での初めてのひまわり号を走らせようと動き始めました。

そして1985年9月23日、895名の皆さんが列車10両編成にも乗り切れず、バスも同時に走らせて向かったと聞いております。

それから34年間で41本の列車の旅、延べ人数12,667名がひまわり号の旅を楽しんでおります。

時にはブルートレインに乗ったり、フェリーに乗ったり、キャンプや登山をしたり・・・多くのボランティアさんが一つになり大きな力で実現させるのは憧れを持って開拓に携わった方の想いと一緒なのかな・・・なんて思います。

1日目の総会では活発な討議ができたように思います。
提起した案について見切り発車してしまい、皆さんに「ちょっと待って！」とブレーキをかけていただき、我々がハッとした場面がありました。

これからの軌道を作る上で、一旦立ち止まってしっかりと地盤を築いてから進まないといけなことを改めて学ばせていただきました。

この経験を生かし、我々運営委員会も成長して行きたいと思いますので、これからもたくさんご教授頂けたら幸いです。

そのあとの交流会では札幌実行委員会さんが全面プロデュースをいただき、素敵な会を行っていただきました。

函館実行委員会の佐田さんが「どじょうすくい」を披露していただきましたが、「誰かのために・・・」という想いはひまわり号の活動でも大事ではないかなと思ったのと、「人を和ませるチカラ」



はきっとひまわり号に必要なことではないかなと思います。

クイズでは北海道を楽しむことができる問題が多く出題され、回答に苦戦されていました。

皆さんが魅せた顔はこれからのひまわり号に必要なことだと思いますので大事にしてください。

そして2日目は、「35年目の歴史を振り返ってこれからのひまわり号をどう運営していくか」をテーマにグループディスカッションしていただきました。

議論のテーマに沿って3名の想いや経験談をお話しいただきました。

中でも小島先生が語った高校生の話は感動のストーリーでした。

先生は『ひまわり号は魔法のようだ・・・』とお話しいただきました。

朝、緊張で少し不安な顔をして参加した高校生がどんどん顔が変わり、旅の最後には満足気な顔をする・・・これは旅を楽しみにしている参加者さんと同じだと思います。

その旅の楽しさの魔法を掛けられるのは皆さん、そして関わっていただけるたくさんの方々だと思います。

その魔法を掛け続けるには、新たな道を開拓しなければならないと思います。

ボランティア不足、財政不足、各鉄道会社の車両の問題・・・など、容易でないことは皆さんこそ承知しているのではないかと思います。

ぜひ今日みんなで話した4つの軌道を頼りに、実行委員会同士協力しあって開拓してレールを引いて行きましょう。

最後になりましたが、全面協力をいただいた札幌実行委員会の岩本実行委員長山田事務局長、皆さんをはじめ千歳ひまわり号を走らせる会、函館実行委員会の皆さんには大変お世話になりました。

そして懇親会の会場に大きな横断幕を作成していただき、全面協力いただいた札幌サンプラザの磯部営業課長様をはじめスタッフの皆さんには感謝の念でいっぱいです。

まだまだひまわり号が進める道は険しいながらもまだまだ進めます。

ぜひフロンティアスピリッツやひまわり号への想いを忘れずに、これからも素敵なひまわり号を走らせてください。

そして通信や交流会などで共有して、明日への糧につなげて頂けたら幸いに思います。

ありがとうございました。



PHOTO By Masaaki YOSHIMURA (TACHIKAWA Executive Committee)

Yuushi YOSHIMOTO (SAPPORO Executive Committee)

☆議案書の住所録の修正のお願い☆

総会議案書に記載している住所録にて修正がありましたのでお知らせします。
修正のほど、お願いいたします。

☆千歳ひまわり号を走らせる会

〒066-0031

北海道千歳市長都駅前5丁目 1-10

サービス付き高齢者向け住宅 えみな うらら家 内

☎0123-23-2262 FAX 0123-23-2252

☆ひまわり号を走らせる山梨実行委員会

〒409-2936

山梨県南巨摩郡見延町常葉 5570 渡辺龍巳様方

☆ひまわり号を走らせる enjoy いばらき実行委員会

実行委員会携帯電話番号>090-6921-4888

その他、住所変更や電話番号の修正などありましたら全国連絡会へご連絡ください。
よろしくお願いします！

☆2019年度の通信発行のために・・・

毎回のお願いですが改めて・・・

各実行委員会の様子や運行報告で通信を作りたいと思いますが、情報が届かず通信を作れない状況が続いております。

今年度の通信は、年4回発行を目標に各実行委員会の便りでたくさん埋め、皆さんにお届けし、情報の共有をしていきたいと思いますので、運行票提出と一緒に運行報告で簡単な文章と写真数枚を添えていただき、全国連絡会へ郵送・FAX かメールでお送りください。

運行票は全国連絡会HPよりダウンロードできます。
ぜひみなさんのご協力をお願いいたします！



<編集後記>

全国交流会 in 札幌、無事に終わられました。
今回は私のホーム、札幌での開催でした。
参加されたみなさんはいかがでしたか？

全国連絡会側と札幌実行委員会の中継役から懇親会会場の手配、宿泊の手配、受付・・・などなど何とかこなせました。

同時にプライベートで写真展出展が3つとかち合い、忙しい日々を過ごしました。

交流会が終わって1週間は抜け殻の様な日を過ごしていました・・・(;^_^A
でもいい経験出来たので良かったですね。次回は松山！また頑張ります！！ う

